



西桂町



VOL.
110

議会だより



9月26日 西桂保育所生活発表「うんどう」

■ 令和2年度決算報告 ……………	2 ~ 3	■ 9月定例会条例・請願・陳情 ……………	11
■ 山崎町長9月定例会所信表明 ……………	4 ~ 5	■ 一般質問（小林議員・藤江議員） ……………	12 ~ 13
■ 各会計決算委員会審議 ……………	6 ~ 9	■ 総務委員会事務調査 ……………	14
■ 9月定例会補正予算委員会審査 ……………	10	■ コミュニケーション広場（陶芸部） ……………	15

一般会計決算賛成討論

事務事業評価による職員のスキルアップをもって
今後の予算編成が能動的になされることを要望

渡辺正芳議員

令和3年9月2日に提出されました令和2年度一般会計決算は、歳入総額32億8523万5778円、歳出総額31億2826万1533円と、昨年度と比較して、歳入では38・3%の増額、歳出では35・8%の増額となる決算であり、新型コロナウイルス感染症対策として実施した特別定額給付金事業の実施などに伴い、歳入、歳出ともに過去最高の決算額となっております。

次に、各財政指標のうち、地方公共団体の健全化に基づく実質公債費比率は5・6%という低い水準で推移しており、健全な財政運営に努力された結果がうかがわれます。

また、経常収支比率については、75・3%と昨年度より6・1ポイント改善され、積極的に取り組まれた成果だと考えます。

ふるさと西桂応援寄附金は13338万7700円と大幅に増加しており、更なるふるさと納税寄付者の増加に向けて知恵を絞り、貴重な財源として有効に活用されますよう要望いたします。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、変異株の猛威も加わり、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、地方税収の大幅な減少により、今後の町の財政はかつてない厳しい状況になることが予想されます。このような状況下において、職員一丸となって財源確保に努めるとともに、令和2年度の事務事業評価による職員のスキルアップをもって今後の予算編成が能動的になされることを切に要望し、令和2年度一般会計、歳入歳出決算認定について、私の賛成討論いたします。

監査委員報告

行財政運営の改革と改善に
全庁体制で積極的に取り組みを！

荒井義光 代表監査委員

審査の対象は、令和2年度西桂町一般会計並びに令和2年度西桂町国民健康保険特別会計外5件の特別会計に係わる歳入歳出決算及び、当該会計関係基金であります。

審査の結果、審査に付された一般会計、特別会計歳入歳出決算書及び付属書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数についても、関係諸帳簿及び諸書類と符合し正確であると認められました。基金の運用状況並びに事務処理についても適正であると認められました。実質収支比率は4・29%で、対前年度比0・2ポイント増加しています。収支の実態把握に努め、適正な財政運営を行っていただきたいと思っております。

歳入合計における自主財源比率は26・1%で、対前年度比0・6ポイント減少しています。これは、保育料や学校給食無償化に一因がありますが、中長期的な視点に立ち引続き自主財源確保を強化していくための施策の推進に取り組んでいただきたいと思います。

歳出においては、人件費、普通建設事業費、物件費、補助費等の4つの費目で全体の7割以上を占めています。特に増加した補助費等は特別定額給付金経費などにより170・8%の増となりました。

厳しい財政状況の中、補助金や交付金の事業の取組みや有利な起債を選択するなど財源確保に注視しながら各種事業を展開して計画的に行っていることは大いに評価できます。

新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、行財政運営全般にわたる改革と改善に積極的に取り組み、適正な事業管理と財政運営に全庁体制で努めていただきたいと思います。

住みよいまちづくり を実施

その他

12万4676円
(5億1716万円)

繰出金、維持補修費、
積立金、出資金・貸付金

人件費

12万1026円
(5億201万円)

主に常勤職員
給与、町長、
議員及び各種
委員等の報酬



補助費等

18万183円
(7億4740万円)



他市町村との
広域業務負担、
各種団体への
補助等

物件費

13万1777円
(5億4661万円)



一般事務経費、臨時職員
賃金、業務委託費等

町民一人あたり
このように使われました

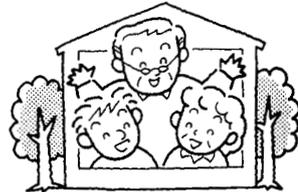
75万4161円

令和2年度
一般会計決算総額

31億2826万円

扶助費

5万3642円
(2億2250万円)



施設措置費、各種福祉手当
医療費手当等

公債費

4万4678円
(1億8533万円)

毎年度、償還すべき
町債の元金、利子



投資的経費

9万8179円
(4億725万円)

建物の建設、道水路整備、
大型備品の購入



※()内は令和2年度決算額

※一人当たり額は令和3年4月1日現在人口4,148人で割った額

■基金(貯金) 1人当たり残高 43万4837円
(18億371万円・昨年度より436万円増)

■地方債(借金) 1人当たり残高 69万4620円
(28億8129万円・昨年度より7912万円増)

※左記の額は一般会計及び特別会計の合計の額です。

※地方債(借金)残高には、交付税算入基礎額として
後年度に国が負担してくれる額が含まれているため、
全てが借金とはなりません。



現在、国内において新型コロナウイルスの第5波による感染拡大が著しく、全国の殆どの都道府県に対し緊急事態宣言及び、まん延防止等重点措置対象地域に指定されました。山梨県内においても、

急激な感染拡大が確認され、8月14日から8月22日までの期間、県独自の取り組みである臨時特別協力要請を受け、町対策本部では、事業およびイベントの中止または延期を決定し、実施してまいりました。国においては8月20日から9月12日までの期間、山梨県をまん延防止等重点措置地域に指定し、感染拡大防止のための厳戒措置が講じられております。

コロナ禍において医療・経済が

緊迫する中、地域内の集団免疫獲得を一つのゴールと設定し、現時点において最も合理的な政策選択と考えられる新型コロナウイルスワクチン接種については、5月24日から8月12日まで81日間をかけ、富士吉田市及び、忍野村の3市町村の合同接種会場である鐘山会場や、富士吉田市立病院において、65歳以上の高齢者ワクチン接種を行い、町内の対象年齢のうち9割を超える1185人の方が接種され、町が目指す7割以上接種による集団免疫獲得に向けて大きな弾みとなりました。熱中症も心配される夏場の大変暑い中、ご理解ご協力をいただいた高齢者の皆様に感謝申し上げます。

また、64歳以下の一般接種については、5歳刻みを基本として接種券の交付を行い、予約枠の状況を判断しながら、対象年齢を段階的に下げて実施しております。富士吉田市立病院の協力のもと、7月24日からは土・日の一般接種を開始し、週末の2日間で約90人の町民が毎週接種されています。8月23日からは、富士吉田警察署南側に富士吉田市ワクチン接種センターが新たに開設され、町民の接

種割合は更に加速しております。加えて町では、より早く接種を希望する町民のために、東京都大手町にある自衛隊大規模接種会場で接種する町民への補助金の支給や、山梨県が設置する大規模接種会場で優先的に接種できる団体として消防団や商工会を登録し、接種機会を拡大するなど、スピード感をもってワクチン接種体制を整備しております。

しかし、ワクチン接種は感染を防止するものではなく、感染した際の発症の抑制や、重症化を防ぐためのものであり、非常に強い感染力で猛威を振るっているデルタ



若い世代へ加速するコロナワクチン接種

株のような新たな変異株から町民を守るためには、ワクチン接種に加え、従来から行ってきた「手洗い・消毒などの手指衛生」、「マスクの着用」、「人と人との距離の確保」など、基本対策に重点を置くことが重要であります。ワクチン接種の有無にかかわらず、徹底した基本的な感染症予防対策の実施を引き続きお願いいたします。

環境保全・循環型 社会の構築

富士北麓・東部地域ごみ処理広域化の推進については、これまで2回の推進協議会が開催され、令和4年2月1日からの設立を予定しております。一部事務組合は基本的事項における規約案の合意が得られておりますので、今定例会において、これまで協議されました進捗状況についてご報告いたします。

観光の振興

三ツ峠グリーンセンター運営管理事業については、令和元年度より「静岡ビル保善株式会社」が指



コロナウイルス感染拡大により影響を受ける三ツ峠グリーンセンター

定管理者となり、施設運営を行っております。

令和2年度では、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等を受け、休業や営業縮小等を余儀なくされ、極端に収入が減少し、厳しい経営状況となりました。

町が指定管理者と締結している基本協定書では、「不可抗力の発生に起因して損害が発生した場合に、合理性が認められる場合は町が負担すること」と規定していることから、三ツ峠グリーンセン

ターが住民の福祉を増進する目的をもつて設置した施設であり、今後も安定的かつ継続的にサービスを提供するため、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響による減収額の半額を補填するため、補正予算を計上いたしました。

令和3年度現在においても、山梨県にまん延防止等重点措置が適用されるなど、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しは立っておらず、本年度の経営についても厳しい状況が続いておりますが、損害を最小限に抑制する取り組みを推進できるよう協議し、官民一体となった事業展開を図り、町の活性化に向け、取り組んでまいります。

三ツ峠ふるさと夏まつり

例年8月15日に開催しております「三ツ峠ふるさと夏まつり」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実行委員会において、昨年度に引き続き中学校を祭り会場とした集合イベントは中止となりましたが、長引くコロナ禍にあって、「町民に明るい

話題作りを」というコンセプトで、密状態とならないよう町内数カ所から分散した花火の打上を計画してまいりました。

しかしながら、全国規模の豪雨による災害の発生や、山梨県から新型コロナウイルス感染症拡大防止への臨時特別協力要請を受け、また当日の天候状況も勘案し、花火の打上げについては、延期の判断をいたしました。

なお、8月20日に山梨県がまん延防止等重点措置地域に指定されたことに伴い、現時点においては、延期後の花火の打ち上げの見通しは立っておりませんが、今後の状況を見ながら判断をさせていただきますので、ご理解をお願いいたします。

行財政運営の充実

新庁舎建設事業については、内外装計画及び、外構計画等について職員と設計事務所との間で詰めの協議を行っているところであり、並行して基本設計業務の概算積算を実施しております。今後の予定といたしましては、基本設計が終了しましたら、直ちに実施設

計業務に着手してまいります。また、11月末には、設計者であります隈研吾氏の講演会の開催に向け取り組んでおり、基本設計の概要については広報誌等を通じて見ていただく考えでありますので、町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

東京オリンピックピック・パラリンピック関連では、7月14日から7月19日まで、フランスフェンシングチームが当初の予定どおり、中学校体育館において事前合宿を行いました。オリンピック競技大会では、金メダル2個、銀メダル2個、銅メダル1個と、多くのメダルを獲得されました。本来であれば事前合宿前から、町民の皆様の機運を醸成し、おもてなしの心をもつて選手団を迎え入れたかったところであり、それが叶わなかったことは非常に残念であります。3年後にはパリオリンピックの開催が決まっております。今般培った選手団及びフランス国とのきずなを通じ、引き続きの交流に向けて準備をしておりますので、ご協力をお願いいたします。

令和3年 9月定例会

令和3年西桂町議会9月定例会は、9月2日から16日までの15日間の会期で開かれました。

町長より条例案3件、各会計の補正予算案3件、決算認定7件、計13件、議員より発議2件が提案され全ての議案が、原案のとおり可決・認定されました。

総務常任委員会

令和2年度西桂町一般会計 歳入歳出決算認定について

(主な委員質疑)

宮作橋橋りょう工事国庫補助金

武藤(隆)委員 道路橋りょう費国庫補助金の防災・安全社会資本整備総合交付金の内訳は。

重森建設水道課長 下暮地区に建設しています宮作橋にかかる補助金です。収入済額の3100万円は令和2年度に実施した右岸工事の補助



国庫補助金を活用して建設中の宮作橋

金分です。残り3800万円分は令和3年度施工の上部桁工事にかかる補助金で、明許繰越いたしました。

PDCA・事務事業評価の推進

渡辺委員 長期総合計画において

「計画評価の導入の推進」がうたわれています。評価、改善することによって職員のスキルアップにつながります。またPDCAを行うことにより次年度の計画を立てていくものですが事務事業評価の状況は。

高山企画財政課長 事務事業評価は

平成17年から26年度まで実施してきました。その後、事業も多くなり採用したシートが複雑多岐にわたるため担当者及び評価者の負担になっていました。予算積算前の事前評価だけで、決算後の評価はされていないことは平成27年以降課題となっており、第6次総合計画にもありますように、早期に従来の事務事業評価の見直しを行っていくとともに、今後の各事業においては事前評価と事後評価を実施し、来年度の決算議会には評価結果が示せるよう努めていきたいと考えています。

空き家対策事業の推進

渡辺委員 空き家ですが、町におい

ても少しずつ増えてきています。空き家の解体費も数百万に上り、解体後の土地の税金は3、4倍に跳ね上がるので、踏み切れない所有者も多いようです。空き家対策についての考えは。

山崎町長 職員が町内を回り調査をしました。40数件が対象になっています。その情報を基に個別に意向調査を行ってまいります。

マイナンバーカードの活用

梅原委員 マイナンバーカードを使用してコンビニでの住民票などの証明書の発行ができると聞いています。西桂町における計画は。

山崎町長 システム上ではコンビニで証明書を発行することは可能ですが、多額な経費がかかります。西桂の人口規模では証明書の発行枚数が少ないので、費用対効果の面でかなり厳しい状況です。

藤江委員 保険証や身分証明書としても活用されていない状況です。有効活用ができればよいのですが。

山崎町長 保険証としての活用も延期となっております。利便性がまだないので持ち歩く人も少ないと思います。私としては普及してきているので利便性を増やすようにと、逆に国

一般会計決算

歳入総額 32億8524万円
 歳出総額 31億2826万円
 差引き額 1億5698万円

の尻を叩くような動きが必要かなと思っているところです。

ふるさと西桂応援寄附金事業

中村副委員長 ふるさと応援寄附金事業の委託費の増額理由は、

高山企画財政課長 前年度より返礼品の数が71商品増えました。またふるさと納税サイトでトップ3に入る人気サイト「ふるさとチョイス」に登録しましたので寄附金が増額し、委託費もその分増加しました。

武藤(隆)委員 納税サイトを見ると「終わりました」とか「無くなりました」と表示されている商品がありますが、その表示の理由は、

高山企画財政課長 商品の中には生産して販売するものもあります。事業者から少しの間休止しますと報告があったときに、寄附者が寄附してから在庫切れはすまされませんので、情報はすぐに流し、欠品が極力無いよう対応しています。

中村副委員長 ふるさと納税の寄附者は前年度43名から715名増えており、寄附金額も前年度より1219万4千円増えています。非常に努力したと思います。これからも頑張ってください。



寄附金が増額しているふるさと納税サイト

高齢者生きがいづくり入浴券配布

中村副委員長 高齢者生きがいづくり事業としてグリーンセンターの入浴券を配布しています。コロナ禍の影響もあると思いますが、使用された枚数が少ないです。入浴券の配布を替える考えは。

永田福祉保健課長 グリーンセンターの入浴券に替わるものは考えていません。この事業を始めた背景は、グリーンセンターの利用促進と、高齢者の閉じこもり予防のために始めました。使用枚数が少ないのは、コロナ禍の影響と思われる。ワクチン

ン接種により感染が落ち着いてくれば、6割、7割の方の使用があると思います。

高齢者等交通弱者対策

渡辺委員 近所の団塊世代の人たちが免許返納を考えているようです。今後も増え続ける交通弱者への対策は。

山崎町長 交通弱者対策については、利用者のニーズ調査から進めていきたいと考えています。

武藤(英)委員 タクシー券の利用について概要説明を。

永田福祉保健課長 75歳から84歳までの高齢者には月に2回で2千円の補助、85歳以上は月2回で3千円の補助をしています。

酒井委員 タクシー券の利用実績が少ない原因の把握は。

永田福祉保健課長 周知については対象者を洗い出して通知しています。同居や近所の親族に運転ができる方がいること、またコロナ禍のため外出を控えていたことも要因だと思っています。今後も移動困難者を支援しなければならぬので、利便性の高い移動支援を具体的に考えてまいります。

介護保険事業における環境整備

藤江委員 高齢者より介護に関する事業の要望として、ショートステイやロングステイをしてほしいと要望があるが、その環境整備についての考えは。

山崎町長 ショートステイの条件が難しいです。人員基準として医師が必要です。その他の人員基準や、ベッド数の制限もあり条件が厳しいので、できないのが現状です。新庁舎ができた時には健康福祉センターの活用方法や社協の運営、デイサービスセンターについても含めて考えていかなければならないと思います。いずれにしましても、いきいき健康福祉センターが西桂の福祉の拠点になるような使い方を考えてまいります。

保育所の保育施設環境整備

藤江委員 西桂保育所は近隣の保育所に比べ非常に評判がいいです。特に0歳児の施設的环境が良くて人気があり、未満児が以前に比べて多くなっていると聞いています。入園児数と保育スペースの状況は。

新田保育所長 8月末の未満児の



未満児の入園希望が増えている西桂保育所

人数は、0歳児が3人、1歳児が14人、2歳児が18人です。0歳児は妊娠時から予約申し込みを受け付けており、生後6か月から入園ができますので、10月から3人入園します。年度末には0才児が6.7人となる見込みです。

また、通常の保育時間では午前7時15分から午後6時15分までお預かりできますが、保護者の就労時間に合わせて午後6時15分から午後7時15分までの1時間、希望者には延長保育をしています。

保育室のスペースについては、0歳児3人に保育士を1人付けていますので、限られたスペースの

中で、保育士も苦慮しながら、保護者の思いに寄り添えるよう努力しています。

藤江委員 0歳児、1歳児の専用の施設を別棟に建てる考えは。

山崎町長 保育所の問題、課題は十分理解しています。土地の制約も厳しいところがありますので、具体的内容について検討しているところです。現在の施設は入園する0歳児は4、5人という前提で建っています。入園児が増えていきますのでスペースが狭いのが現状です。よいアイデアがございましたら検討させていただきます。

耐震化事業の推進

瀧口委員 木造住宅の耐震診断について重点的に行っていたかたと思います。耐震診断の勧誘方法は。

重森建設水道課長 1件1件戸別訪問により説明して回っています。全ての世帯を回れるよう計画を進めています。

新1年生入学仕度金の支給

小林委員長 教育費の入学仕度金の内容は。

川村教育長 入学仕度金は、小学

1年生の保護者に2万円、中学1年生の保護者に2万円、高校1年生の保護者に3万円それぞれ支給しています。

英会話の推進

藤江委員 英会話が教科の中に入ってくるといっていけなくなる児童も出てくると思いますが、そのような児童へのサポートは。

川村教育長 小学3年生から英語が教科になっています。ついていけない児童には、英語の専門の先生を依頼しています。その英語の先生と担任、ALTの3人で児童のサポートをしています。

中学生の礼儀正しい行動に称賛

武藤(隆)委員 中学校の前の横断歩道で、中学生が止まって運転手に挨拶をしています。清々しく思いました。西桂の中学生は礼儀正しく、すごく真面目でいい子です。今後も指導を続けていきたいと思えます。

川村教育長 中学生は他の方々からも評価が高く、電話でもお褒めの言葉が多くあります。今後も継続できるように中学校に報告いたします。

総務常任委員会

令和2年度西桂町国民健康保険 特別会計歳入歳出決算認定

(主な委員質疑)

武藤(隆)委員 国保加入者の状況は、平成31年度末901人、令和2年度末874人となっております。被保険者数が27人減少しています。今後の被保険者数の見通しは。

山崎町長 本来、すべての企業は社会保険に入らなければならないのですが、社会保険というのは企業負担が大きく、特に中小企業にとっては重くのしかかるものであり、加入していないことを黙認されてきました。それが、5年程前より指導が強化され、その影響もあって国保加入者の数が全国的に減っています。

小川税務住民課長 社会の態様が変わってきていることから、社会保険へ加入する方が増えてきています。今後の推移としては、自営業の方や65歳以上の高齢者が一定数いますので、ある程度の数で下げ止まると思われれます。

武藤(隆)委員 国保に加入せざる

を得ない65歳以上の高齢者は所得が低いので運営は厳しいと思いますが、今後の事業運営の考えは。

小川税務住民課長 65歳から74歳までの国保加入者全体に占める割合は年々増加しており、今後も一定数増えていくと思われれます。保険税軽減のための補助金が出ていますが、医療費が伸びないことが一番だと思えますので、健康づくりに事業に注力していきたいと考えています。

令和2年度西桂町介護保険 特別会計歳入歳出決算認定

(主な委員質疑)

渡辺委員 介護認定調査時において、介護にあたる家族から聞き取り調査を行っていますが、認定調査にどの程度反映されているか。

永田福祉保健課長 町の職員が調査項目に基づいて認定調査を行います。本人からの聞き取りや身体の可動域等を調べて、その後介護者である家族から現状でどこまでの介護が必要としているかの聞き取りを行い総体的に判断し、認定させていただいています。

建設常任文教委員会

令和2年度西桂町簡易水道 特別会計歳入歳出決算認定

(主な委員質疑)

武藤(隆)委員 年間配水量の増加の理由は。

重森建設水道課長 無料化によるものと漏水によるものです。

武藤(隆)委員 水道管布設替工事による令和2年度末の町内全体の延長距離数は。

重森建設水道課長 令和2年度の水道管の布設替工事は44m増えています。44mの増については水道管の敷設箇所により曲がりが生じたので増加しています。年度末の水道管の延長は3万6491mです。

武藤(隆)委員 令和2年度に実施した各水道管布設替工事の延長距離数は。

重森建設水道課長 小沼中央線布設替工事157・5m、宝養寺線本管布設替工事53m、池ノ頭地内給水管布設替工事90・3m、また下水道の併設区間として63・8mの工事を実施しています。



計画的に進めている水道管布設替工事

武藤(隆)委員 漏水率は平成31年度33・7%、令和2年度36・9%で漏水が増えています。漏水率を下げるためには、古くなった管を取り替えていかなければ漏水が少なくならないと思えますが、漏水解消に向けての考えは。

重森建設水道課長 毎年漏水調査を行っています。令和2年度には本管の末端部分に漏水しているところが3か所ございました。それを補修したところ、令和元年度との比較になります。有収水量は4月分がプラス1600t、5月が1000tの増というところで、改修後は落ち着いています。定期的に布設替工事をしていかなければならないと考えています。

令和3年度特別会計決算額

賛成全員

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険特別会計	3億6204万円	3億6017万円	187万円
後期高齢者医療特別会計	8515万円	8515万円	0万円
介護保険特別会計	4億3932万円	4億0254万円	3678万円
介護予防支援事業特別会計	71万円	62万円	9万円
簡易水道特別会計	8217万円	8062万円	155万円
下水道特別会計	1億8440万円	1億8231万円	209万円
合計	11億5379万円	11億1141万円	4238万円

(1万円未満四捨五入)

令和2年度西桂町下水道特別会計歳入歳出決算認定

(主な委員質疑)

菅谷委員 受益者負担金の滞納件数は。

重森建設水道課長 令和2年度末で30件でしたが、現在の滞納件数は24件で解消に向けて努力しているところです。

菅谷委員 下水道区域内に新規に家を建てる場合は、受益者負担金を支払わないと建築許可が下りないと聞いているが。

重森建設水道課長 新築の場合はそのまま接続していますので、受益者負担金はいただいません。受益者負担金は長期に渡って接続しない方を解消することが目的です。下水道整備後1年以内に接続した方からは受益者負担金はいただいません。

酒井委員長 受益者負担金を支払わずにいた方が、下水道に接続したいと希望がある場合の対応については。

重森建設水道課長 受益者負担金を少しずつでも納付するよう勧奨しています。

令和3年度西桂町一般会計補正予算(第2号)

(主な委員質疑)

藤江委員 食生活改善推進委員会の補助金が研修参加による目的で増額となっていますが、研修の内容は。

永田福祉保健課長 関東甲信越と静岡のブロックの研修会に、食生活改善推進委員会の会長と副会長、担当職員の3名が出席します。この研修会は講演会や各県の取り組みなどが発表されますので、食生活改善推進委員皆さんの活動に役立てていただければと思っております。

藤江委員 研修に参加することによって、必ず受講者の方からフィードバックされると思いますが。その中で、当町に合ったオリジナルの良い活動をやっていたら良いと感じています。また、活動そのものももっと活発にできるように補助をしていただいて、食生活改善推進委員皆さんの活動が充実するよう環境整備をお願いしたいです。

菅谷委員 新型コロナウイルス感染症対策経費に追加計上された補正額は、国からの補填はあるのか。

永田福祉保健課長 補正内容は看護師における有償ボランティア経費です。国庫補助金として、全額国から補填されます。

武藤(英)委員 商工費の修繕料の内容は。

佐藤産業振興課長 産業会館内の浄化槽のばっ気プロロー故障による既存設備の撤去及び新設プロロー設置にかかる経費です。

小林委員長 小学校外壁塗装は当初予算で相当な額を計上していましたが、追加計上する理由は。

川村教育長 補正する理由は主にアスベスト処理経費です。

令和2年に大気汚染防止法の一部が改正されました。今までアスベストの定義にならなかつた建築材料が追加され、その法律に基づいて調査したところ吹付け材に使用されていました。

吹付け材は全て剥さなくてもよいのですが、ひび割れがあるところでは剥離補修しなければならぬので、経費が追加となりました。

令和3年度9月定例会補正予算額 **全 員 賛 成**

会 計	補 正 額	補正後の予算総額
令和3年度一般会計補正予算(第2号)	1億3978万円	25億2631万円
○歳入 普通交付税、新型コロナウイルス感染症予防事業国庫補助金、公共施設整備基金繰入金、繰越金他の増額、及び新庁舎建設事業寄付金の追加		
○歳出 基金運用経費(庁舎建設基金積立、財政調整基金積立)、新型コロナウイルス感染症対策経費、グリーンセンター施設管理経費、庁舎建設に伴う道路改良工事等経費、小学校北館外壁塗装工事経費他の増額		
令和3年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	356万円	4億4698万円
介護予防サービス給付経費、高額医療合算介護サービス経費の増額		
令和3年度簡易水道特別会計補正予算(第1号)	668万円	8393万円
水道管布設替工事経費の増額		

9月定例会・条例改正等 **全 員 賛 成**

条 例 名	主な内容
西桂町職員給与条例の一部改正	人事異動による寒冷地手当支給対象地域に在勤する職員への寒冷地手当の支給並びに住居手当及び単身赴任手当を国に準拠した規定とするための条例改正
西桂町税条例の一部改正	令和3年度をもって固定資産税に係る前納報奨金を廃止するための条例改正
西桂町太陽光発電施設の適正管理による地域環境の保全に関する条例の一部改正	令和3年10月1日より施行される「山梨県太陽光発電施設の適正な設置及び維持管理に関する条例」の公布に伴い、町条例との競合関係を避けるための条例改正

請願書・陳情書 処理状況 **賛 成 多 数**

下記請願は採択と決し、令和3年9月16日付けにて、請願の趣旨に基づき関係機関に意見書を提出いたしました。

件 名	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書
請 願 者	山梨県町村議会議長会
請願の要旨	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求めるため、国の関係機関に意見書を提出すること
件 名	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書
請 願 者	南都留地区PTA協議会、南都留地区公立小中学校長会、南都留地区公立小中学校教頭会、山梨県教職員組合南都留支部
請願の要旨	加配定数の振り替えによらない小学校35人学級の実施、中学校での35人学級の実施、教職員定数改善、及び義務教育費国庫負担制度拡充が図られるよう、国の関係機関に意見書を提出すること



小林 剛 議員

問 農振区域の縮小と市街化区域の拡大に対する町長の考えは？

町長が、議員就任以前より、町の農業政策、特に農業振興法の適用地域に関して多面的に調査・研究をしていたことは良く知っております。

県道富士吉田西桂線が農業振興地域を通過する設計にしたのは、土地取得費の面から合理的な事です。しかし、道を入れたのに家を建てられない政策の継続はいただけません。都市計画

法の市街化区域として住民の使い勝手も良い用途指定を行い、住民の減少を防ぐ手立てを講じる必要があります。

土地利用について、速やかに町民へ構想を示し、十分な議論の時間を持つべきと考えます。農振区域の縮小と市街化区域の拡大に対する町長の考えをお示し願います。

町長答 現行マスタープランの改定に向けた取り組みを実施していく

当町は、平坦部は道路・河川を含めても約3km²という限られた面積であることから、用途地域の設定はなじまないと考えます。

西桂町都市計画マスタープランにおいては、農地の保全に配慮しながら、都市的土地利用との調和のとれた適切な土地利用を図り、

周辺集落の環境と一体となった整備を目指しております。議員ご指摘の農振農用地問題にも取り組んでいきたいと考えております。

現行マスタープランの目標年次である2032年度を待たずに、来年度以降、速やかに改定に向けた取り組みを実施していく所存です。

再質問

平成26年県農政幹部部来町時、「町から計画が上がってくれば農振は外していきます」と述べられました。マスタープランの改定でも、部分的用途指定でも

町の発展に向け土地の有効活用を行うために物事が早く進む方法で作業を進めていただくよう善処を望みます。

町長再答

西桂町における道路整備の多くは、農振農用地に指定し、農林水産省の補助金を活用し、農道としての整備が中心に行われてきたため、多くの道路が狭小なものとなっており、指定された多くの農地が、農振農用地による規制があるため、指定解除の条件が非常に厳しく、宅地としての利用は難しいということが現状であります。

開発計画による申請につきましては、県側も前向きに受け入れていただけることになっております。

西桂町としての開発計画を策定し、宅地と農地のバランスの取れた町づくりを行ってまいりたいと考えております。

開発計画策定のためには、対象地域となった町民の皆様にはご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

しかし、これまでの長崎知事や県担当部局との話し合いの中で、町としての開



藤江雅江 議員

問 社会福祉協議会への業務改革と期待することについて

社会福祉協議会については皆さんもご承知のとおり、「社協」の略称でも広く知られており、福祉の向上に向けて様々な活動を行っております。

社会福祉協議会の事業は多岐にわたり、対象者も非常に多く、特に高齢者の

方々を対象とする事業が多いと思えます。

その環境下で多くの課題や問題もありますが、改革となる現状を大きく打破して大きく変えることと私は理解しております。現段階でのお考えをお伺いいたします。

町長答 専門員による地域福祉の連携や向上に期待

社会福祉協議会は福祉の活力の源泉となり、専門性・複雑化を伴う現状に対応できる組織として機能するためには、必要な支援と助言をすることが私の責務であると思っております。

まずは、組織体制の整備・充実を図るため、社会福祉事業に精通した事務局長と社会福祉士を採用し、勝俣会長の下、活動内容の見直しや、新たな支援事業の検討など、業務の改

革に取り組んでいるところですが、多くの町民の皆様が、社会福祉活動やボランティア活動に関心を持つことにより、安心して生活することができ「福祉のまちづくり」の実現に一步でも近づけることが出来るものと思っております。社協には、その住民参加型福祉のまちづくりの実現に向け、中心組織としての活躍を期待しております。

問 12歳から64歳までの新型コロナワクチン接種の今後の計画について

新型コロナ感染症は、とてつもなく想像を絶する次元の違う危機感をもたらしております。

過日の新聞報道では、10歳未満から100歳代の男女の方々が感染したとのことであります。

町民の皆さんは、この先のことが見えず不安で不安で仕方ないのです。

今後の実施計画についての進めていくのか山崎町長のお考えをお伺いいたします。

町長答 集団免疫80%を目指す

今後の新型コロナワクチン接種計画につきまして

は、富士吉田市立病院会場では、7月24日より64歳以下的一般接種が開始され、土・日で約90の方が接種しており、8月23日より新設された富士吉田市ワクチン接種センターでは、週約180人の方が接種しております。両会場合わせると約270人の町民が1週間ごとに接種を完了いたしました。今後の見通しとして、12月中旬に対象となる町民の約85%が接種済となる計

画です。

また早期接種に向け、自衛隊大規模接種会場での接種者への補助、消防団員や商工会加盟企業を対象とした県内大規模接種会場の接種枠の確保、県外への通勤・通学者に対する優先接種など、町接種機会の拡大と促進に取り組んでおります。ワクチン接種の重症化予防効果に期待しておりますが、接種後も新しい生活様式が持続が必要ですので、町民の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

防災行政無線の更新に伴う契約方法及び自動音声の改善対応について

(小林議員提案理由説明)

防災無線の音声に関しては、町民から、「どうにかならないのか」という意見があり、町でも改善を試みていたと思います。町民から「隣の都留市と比較して改善が見られない」という意見があり、同市の防災担当課に、改善状況を教えていただきました。メーカーの技術者を呼び、約3年間に渡り、実際に流れる音声聞いて調整を行い、現在の防災無線の音声の質にしたという話でした。町の改善対応の説明とこの防災無線に係る金額がいくらなのかということも、併せて説明していただきたい。

(総務課概要説明)

防災行政無線更新に伴う契約経過
令和元年度「西桂町防炎情報伝達システム整備実施設計業務公募型プロポーザル」及び「実施設計業務業者決定」↓参加表明1社
三井共同建設コンサルタント(株)
契約金額…554万4千円

令和2年度「西桂町防炎情報伝達システム整備工事」の「制限付き一般競争入札」↓応札2社
堀内電機(株)

契約金額…1億8293万円
運用開始…令和3年4月1日

8月6日以降、町に対して苦情等のお問い合わせはございませぬ。合成音声は生の声とは違いますが、アクセントやイントネーションを放送の都度編集する調声作業をすることで、生身の人間が読んでいるようなスムーズな音声になるよう、確認をしながら放送をさせていただいております。業者には、音声読み上げのクオリティが上がるよう、今後も改善要請を行いたいと考えております。

(主な質疑)

小林議員 都留市は業者を入れて改善をしています。「町でも業者を交えて改善していただきたい」という意見が3月の定例会で他の委員からも出ていたと思います。1億8000万円もかけて、アフターメンテナンスはすべて役場任せという業者も、ずいぶんいい加減なものだと思います。業者に対して音声改善を強く訴えていただき、その成果として、町民の耳に訴えるよう、引き続き改善していただきたいと思っております。

現在のし尿処理許可業者選定理由及び収集情報に関する町の管理体制について

(小林議員提案理由説明)

町で許可をしている事業者は、地域で最初の業者だから今日まで契約をしている、というのは推測できませんが、なぜこの業者を選び続けているのか、役場の書類でわかる契約の経緯を開示していただきたい。また、収集量が、町民から出た量と、業者が申請している量に齟齬がないか、その確認方法についても教えていただきたい。

(産業振興課概要説明)

①現在の許可業者の選定理由

現在のし尿の収集・運搬・処分について市町村長による許可制度となつたのは、昭和29年に施行された「清掃法」によります。その後改正され、現在の「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の施行が昭和45年ですので、今となっては、実際いつから町が許可したか、また、現在の許可業者とした理由については明確な回答はできません。

②長年、町の許可業者が1業者だけに限定されている理由

(裁判の判例を引用して説明)
これは福井県小浜市で一般廃棄

物収集運搬業の許可を市長がB社に出したことにより、既存の許可業者よりその許可は違法として、許可の取り消しと損害賠償を求めた事案であります。

「市町村長から既に許可を受けている許可事業所が、一般廃棄物の適正な処理が継続的かつ安定的に実施されており、町の一般廃棄物処理計画に適合すると認められる場合は、他事業者への新規許可は認められない」とするものであります。

(主な質疑・意見)

小林議員 事業者の価格設定の在り方。許認可権をもつ町が、その価格設定について、行政指導はできないのか。

山崎町長 処理価格が近隣市町村と比べ大幅に違う、ということになれば、当然指導、お願いということはあり得ますが、現状は許容範囲内であるというのが町の認識です。家庭からの搬出量と、センターへの搬入量のチェックというのは、再度検討して善処したいと思います。

コミュニケーション広場

皆さんの貴重なご意見・ご感想などを今後の議会活動に反映させてまいりますので、積極的なご参加をお願いいたします。



地域で活躍する団体を訪ねて その85



陶芸部の皆さん

訪問先

陶芸部

会長：永田くに子

取材日：10月7日
梅原議員、酒井議員

会員数 12名

活動日及び時間

毎週木曜日 午後1時30分から4時まで

活動場所 三ツ峠グリーンセンター 陶芸体験棟

今後の目標

ロクロを使って陶器も大分作れるようになりました。大物も作れるように頑張ります。

町民の皆さんにお知らせしたいこと

コロナ禍のため密を避けて

活動をしています。集中できる時間はとても楽しいので、町民の皆さんにも参加していただきたいと思います。

行政に望むこと 県内外の方を対象に陶芸体験を行っていますが、家族やグループの利用が多くロクロの数が足りないなので、もう少し増やしていただきたいです。

陶芸体験棟は、夏はとても暑いのでエアコンの設置をお願いしたいです。またトイレや水道がないのでとても不便です。



コミュニケーション広場では、西桂町で活動されている団体を紹介しています。掲載を希望される団体は是非ご連絡ください。（議会事務局：☎ 25-2121）

西桂保育所

生活発表

9月26日

年少



年中



年長

